

JWNDRR公開勉強会

2018.6.24

3.11から7年

どこまで進んだ

ジェンダー視点からの防災・復興政策

主催：男女共同参画と災害・復興ネットワーク

**女性防災リーダーの養成と
行政等との連携課題**

特定非営利活動法人イコールネット仙台

代表理事 宗片恵美子

イコールネット仙台（2003年設立）



男女共同参画社会の実現に向け、「伝え」「広め」「提案する」活動に

幅広く取り組むとともに、男女共同参画を核としたネットワークの形成をめざす。

特に、防災・災害復興は重要

「災害時における女性のニーズ調査（2008年）」を実施

対象：仙台市内1100人の女性

背景：阪神淡路大震災[※]で明らかとなった女性たちの困難



「女性の視点からみる防災・災害復興に関する提言」

* 東日本大震災に伴う「震災と女性」に関する調査 (2011)

・ 女性の被災時・復興時をめぐる課題解決 ・ 被災地の女性たちの記録

対象：宮城県内3000人の女性 回収率50.4% <1500人の声>

* 聞き取り集「40人の女性たちが語る東日本大震災」 (2013)

ライフスタイルの異なる40人の女性たちの3.11からの時間



「男女共同参画の視点からみる防災・災害復興に関する提言

* 聞き取り集「40人の女性たちが語る東日本大震災」

その後 「今」、そして「これから」 (2016)

20人の女性たちの5年間の変化・思い・痛み

「女性のための防災リーダー養成講座」

＜2013年～2015年＞

(3年間で100名の女性防災リーダーの養成を目指す)
地域防災の担い手となる女性の人材を養成

＜振り返り編＞

NO 1	防災・減災と男女共同参画 ＜なぜ、防災・減災に女性の視点が必要か＞
NO 2	地域防災計画を知ろう！
NO 3	震災で起きていること DVと児童虐待
NO 4	障害の特性と対応を知ろう！/震災後の心のケアに取り組む
NO 5	「災害時、こんな時の対応は・・・」避難所づくりワークショップ

＜実践編＞

受講生は自分の地域で、防災の取組を実施→団体がサポート

＜地域に根ざす人材を育てる長期的プログラム＞

「女性防災リーダーネットワーク」組織図

各防災ネット単位で集まりを持ち、情報交換会や地域性に合った企画検討等を行う。仙台市地域防災リーダー（SBL）養成講座を受講し、認定を受けているメンバーも多い。

女性
防災
リーダー
ネット
ワー

(事務局)イコールネット仙台

女性防災ネット青葉 (24名)

女性防災ネット宮城野 (18名)

女性防災ネット若林 (12名)

女性防災ネット太白 (20名)

女性防災ネット泉 (12名)

しおがま女性防災ネット、いわぬま女性防災リーダー

の会、大崎、石巻、東松島、福島、山形 等

知恵

アイディア

情報

人材

ノウハウ

【女性防災リーダーの実践】

地域の児童館・学校・町内会・大学・市民センター等との連携ですすめる防災の取り組み



【女性防災リーダーの実践】

＜女性のための防災力UP講座in青葉＞

期 間 2016年9月13日～10月4日 主 催 女性防災ネット青葉

① 9月13日	* 防災・減災に女性の力を活かそう！ * 宮城野区の防災 ここがポイント！
② 9月20日	地域の防災活動を知ろう！ 紙芝居を通して、障害児・者への災害時支援を考えよう！
③ 10月3日	「災害時、こんな時の対応は・・・」避難所づくりワークショップ

①



②



③



【女性防災リーダーの実践】 主催：女性防災ネット宮城野

市民のための防災力UP講座＜宮城野区編＞2017.7

※なぜ、防災・減災に女性の視点が必要か

※宮城野区の防災 ここがポイント



※災害に備えて～サバ飯づくりワークショップ～



=女性防災リーダーの「今」を伝える=

シンポジウム「女性防災リーダーの実践と可能性」

(2016.3.4)



シンポジウム「女性防災リーダーの活躍にみる可能性と課題」 (2017.3.15)



報告「女性防災リーダー育成講座の実践」

(2018.3.11

報告「女性と地域防災」に関する調査

<人材養成における課題>

「養成」から「活用」へ

1. 行政・地域が、人材活用のしくみをつくる
2. 登録制とし、随時、自治会等に人材を推薦・紹介する
3. 受講生の中から、主体的に活動母体が立ち上がり、行政や
地域と連携し防災活動をすすめる
4. 行政が支援し、受講生の中にネットワークを立ち上げる
5. 研修・情報交換等のフォローアップの必要性